

# 魚津の自然再生 生き物観察カレンダー

2014~2016年 魚津水族館水生生物調査結果をもとに作成しています。

トンボ類	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アオイトトンボ					7月8月がピーク			
オオアオイトトンボ					7月ころから姿を現すが稀			
ニホンカワトンボ			横の細流で確認					
キイトンボ					2016年に初確認			
クロイトンボ					少ない			
オオイトトンボ					最も見られるイトトンボ類			
アジアイトトンボ					最も見られるイトトンボ類			
マルタンヤンマ			幼虫のみ確認					
ルリボシヤンマ							1個体のみ確認	
ギンヤンマ					時々見られる			
クロスジギンヤンマ					繁殖・定着している			
ヒメクロサナエ				横の細流で幼虫確認				
オニヤンマ	横の細流で幼虫確認。成虫は涵養田全体を飛行している							
ナツアカネ							主に秋に現れる	
リスアカネ							ここでは稀	
ノシメトンボ							秋に見られる	
アキアカネ						7月頃の頃に羽化が見られる		
コノシメトンボ						2016年は増加		
ムタテアカネ						最も見られる赤トンボ		
ミヤマアカネ						姿を現すが少ない		
ネキトンボ								
キトンボ						2016年は増加		
ショウジョウトンボ							秋に見られる	
ウスバキトンボ					2014年は多数の羽化が見られたが近年は稀			
ハラビロトンボ			2016年に初確認					
シオカラトンボ				最も見られるトンボ				
オオシオカラトンボ					シオカラトンボに比べて稀			
ヨツボシトンボ			2016年に初確認					
<b>両生類</b>	<b>3月</b>	<b>4月</b>	<b>5月</b>	<b>6月</b>	<b>7月</b>	<b>8月</b>	<b>9月</b>	<b>10月</b>
ニホンアマガエル				7月に多数出現				
ヤマアカガエル		3月末頃から産卵。6月にはカエルになる						
トノサマガエル				成体は見られるが、涵養田ではまだ繁殖していない				
ツチガエル				カエルのなかでは一番遅くまで見られる				
シュレーゲルアオガエル		鳴声のみ確認						
モリアオガエル				ヤマアカガエルの幼生が上陸する頃に産卵が始まる				
カジカガエル					細流から迷い入ってきた?			
アカハライモリ					2016年に初確認			

幼虫・幼体(卵も含む) 成虫・成体

涵養田が完成してまず現れたのはアメンボやマツモムシ




アメンボ マツモムシ

5月末頃から10月まで長期的に見られる




オオイトトンボ アジアイトトンボ

涵養田完成以降クロスジギンヤンマが見られたが、2016年からギンヤンマも増えつつある



ヒメクロサナエ(幼虫)

成虫は未確認



マルタンヤンマ(幼虫)



アキアカネ

オスは9月頃から赤くなる



ヨツボシトンボ

2016年に初確認



ハラビロトンボ



ヤマアカガエルの卵

ヤマアカガエルと入れ替わり産卵がはじまる



モリアオガエルの産卵



カジカガエルの幼生



アカハライモリ(幼生)

涵養田・自然観察池で継続的に調査を行い、5年後、10年後にどんな生き物がやってくるか、または消えゆくかを観察して、一時的な棲家か、生涯の棲家としているのかを調査しています。この結果は、他の地点での自然再生事業や新たなビオトープの整備などの基礎情報として役立てたいと考えています。

